

憲法を生かし 核兵器も基地もない 社会を子どもたちに

憲法・平和・核兵器廃絶
メールニュース第18号
2012年4月27日(金)
全教・国民共同局

ウィーン代表団に、154万7979名分の 「核兵器禁止の新アピール」署名を託しました。



ウィーンで、4月30日から行われるNPT準備会合にむけて要請を行う代表団に、署名が託されました。その数、1,547,979筆。首長の815名分、教育長の135名分も届けられます。

昨年の原水爆禁止世界大会で、潘基文国連事務総長から「みなさんの署名の一筆一

筆が世界を動かしているのです。」とお墨付きをもらった署名の力。これに確信をもって、いま全国で繰り広げられている新たなアピール署名、全教からは、本部に届いた23,960名分を届けました(各県原水協に署名を届けている組織も多いと思います。数だけ全教に報告を)。

今回の準備会合にあわせて、国連事務所が入っているウィーン国際センターのNGOスペースと、ウィーン大学において、「原爆と人間」写真展を開催します。これは、日本原水協・日本被爆者団体協議会、そして国際平和ビューローの3者で主催することになりました。ウィーンで「被爆の実相」を伝えます。あらためて、「ヒロシマ・ナガサキを繰り返してはならない」という世論がウィーンでも高まることでしょう。

岡山原水協ニュースより

岡山・高校生が核兵器廃絶の学習

岡山県高校生社会問題研究連絡会の生徒役員会(4/21)

4月21日、岡山高社研(岡山県高校生社会問題研究連絡協議会)第1回生徒役員会議が開かれ岡山県内の9校から14人の生徒と指導の教師9人が参加しました。岡山県原水協の平井事務局長が「核兵器のない平和で公正な世界を」と題して講演。パワーポイントを使って被爆の実相、核兵器のメカニズムと威力、アメリカが原爆使用を強行した本当の理由と、原爆の威力を実験として把握することに狙いがあったことを説明し、核開発競争の進む中で日本原水協と被爆者の果たした役割、現在の到達点一核兵器禁止条約をつくらうが国際政治の課題になっていることを話しました。そして、2012年原水爆禁止世界大会への参加と、被団協の作成した新「原爆と人間」を使った写真展を、各学校の文化祭でみなさんが主体となって取り組んでほしいと訴えました。

講演を聞いた倉敷中央高校の女子生徒は「とても印象に残るお話だった」と話していました。また、原爆写真展についても関心を示し「どうしたらパネルが借りられますか?」と質問する生徒もいました。

ストップTPP!

キャンドル集會にJAグループ含めて5000人(4/25)



野田首相が日米首脳会談(4/30)でTPP交渉参加を表明しないように求めて、4月25日は各地で多彩な行動が取り組まれました。

日比谷野外音楽堂では、午後、JA全中はじめ農林水産団体、消費者団体が実行委員会をつくり、「TPPから日本の食と暮らし・いのちを守り『交渉参加表明』を阻止する国民集会」が4000名の参加で行われました。この集会では、みんなの党を除く9党派の代表があいさつをしています。

夕方からは、「STOP TPP キャンドル集会」(40団体の実行委員会主催)が開かれました。ここには、JAの皆さんも合流して5000人が参加しました。韓国・アメリカ・ニュージーランドからのメッセージも紹介されました。「国境を越えた国際的な反TPP運動と連帯して運動を強めよう」「農業、医療、地域経済、雇用など、国の形を一変させるTPP参加は、私たちの願いと逆行するもの。断固反対。」と、決意する集会となりました。全教からは首都圏中心に参加しました。

公的保育制度を解体し、保育の産業化・市場化をすすめ、豊かな子ども時代を奪う「子ども・子育て新システム」はいりません!

いいません! 保育を産業化する「子ども・子育て新システム」

楽しく運動!! **みんなの保育フェスティバル**

日時: 2012年 5月13日(日) 11:00開始~ 14:00パレード(雨天決行)
場所: 東京・明治公園

<予定プログラム>

11時~ ■ステージ企画 ■展示企画 —保育・子育て・運動の交流をしよう—
各地の活動紹介や子育て相談コーナーなど

13時~ 決起集会 ※ここが大事!! ・情勢報告、活動交流 ・集会アピール採択

14時ごろ パレードスタート (明治公園→表参道→代々木公園)

終了後、「自治労連・保育学童保育闘争推進意思統一集会」を開催!
時間: 16時~17時45分 場所 T's 渋谷アジアビル (会場200人収容)